放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年3月29日　　事業所名　タイムこどもデイサービスめろでぃ

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		・室内と室外に分かれて活動するように工夫している。
	②	職員の配置数は適切であるか		○		・緊急時の対応の時、不便を感じる。 ・男手が必要と感じるときもある。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	・スロープは無いが、手すりで対応している。 ・トイレが狭く、カーテンで仕切りをしているが介助の際、不便を感じる。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか		○		・会議等行っているが参加人数が少ないときもあので資料を回覧している。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・アンケートを行い、個々のニーズに応えられるように努めている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・3月末ホームページと4月デイ通信に掲載している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	・行っていない
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・定期的に専門家のご指導を頂いている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・個別に面談をして会議で話し合い計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		・相談支援のものを使用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・めろでぃ会議のときに話し合っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・季節の行事を取り入れている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			・それぞれのニーズに沿って、お出かけの場所や工作、展示物などを工夫している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・個別の療育を取り入れたり、集団での創作活動などを取り入れている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・送迎の役割分担とその日の活動の大まかな内容を共有している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・職員は送迎後、個別活動記録を記入し、内容によってはスタッフと共に検証している。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・全体日誌や個別の活動報告書に記録をつけている。必要に応じて会議で話し合っている。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・年に2回、面談を行っている。支援内容が変更になる際はその都度対応
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○			・1日の支援の流れを作って活動している。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			・児童発達支援管理責任者が参加している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			・お迎え時間の間違い等ありましたが、常に連絡は取れるようにしている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				・該当なし。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			・管理者及び児発管が相談支援を連携し行っている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか				・該当なし。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			・相談支援センターの方から「虐待、不適切支援防止のために」の研修を受けました。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		・公園等で出会ったときは、一緒に遊んだりしている。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			○	・日程が合わず参加できなかった。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・送迎の際、保護者とめろでぃや自宅での様子をお話させていただき、会議の時にスタッフに伝え、「保護者との話し合い」を共有している。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	・ペアレントトレーニングの研修に参加し、行っていきたい。
	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・契約の際、管理者が行っている。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・送迎時、連絡帳、電話などで必要な助言を行っている。また相談支援と共にその内容に沿って対応している。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
保護者への説明責任等	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		・コロナで開催できなかったが、今年に入り計画をし実行した。
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・苦情の窓口を設け、時には本部と連携し真摯に対応している。 ・保護者からのご希望にそえるように心がけています。
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・デイ通信やタイム通信を発行している。
	㉟	個人情報に十分注意しているか	○			・管理者のもと管理を徹底している。 ・私生活時も十分注意している。
	㊱	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・保護者と連絡を取り合い、情報交換をして寄り添えるように心がけている。
	㊲	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		・まだコロナが心配で開催できなかった。
非常時等の対応	㊳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		・マニュアルは事業所内に掲示していつでも確認できるようにしている。 ・保護者との連携訓練も必要だと思っている。
	㊴	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・第3回避難訓練を行っているが、送迎時の対応や避難場所での過ごし方、保護者との連絡等、引き渡しの訓練や準備が必要である。
	㊵	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・相談支援センターの方の研修を行いました。虐待防止委員会担当職員配置
	㊶	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			・保護者に同意を貰い、個別支援計画書に記載し、理解を得ている。
	㊷	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			・保護者からの情報を受け、おやつの選択や食後の掃除など細心の注意をはらい、対応している。
	㊸	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・ヒヤリハット用紙に記入し、その情報を周知、共有し会議で再発防止を話し合っている。